



滝田 一郎 議員

学校図書室の電子化及び
少子高齢化社会と福祉に
対応した市立図書館について

質問(滝田一郎議員)
市立図書館の図書管理システムを中核とした学校図書室の電子化による管理システムの構築について伺います。

答弁(教育部長)
市立図書館については、大田原、湯津上、黒羽の3館をネットワークで結び、業務の合理化・効率化に努めています。大田原図書館の移転後、図書館管理

システムのパフォーマンスを向上させ、電子図書館、インターネットでの蔵書検索や予約サービスなどを実施しています。

学校図書館支援も市立図書館の行う業務の一つとなっておりますが、学校図書館の現状は ICT 化されておらず、29 校に配置されている 14 名の学校図書館活性化推進員が、個人のパソコンやスマートフォンを利

用して市立図書館に本の予約を行っている状況です。

今後の課題は、各学校の図書館にパソコンを配置するとともに、蔵書管理システムを導入し、図書館のデータベースを進めていくことが第一と考えており、ネットワーク化については、今後の財政状況を鑑みて進めていきます。



高木 雄大 議員

選挙権年齢の引き
下げについて

質問(高木雄大議員)
投票率向上のための本市の考えを伺います。

答弁(選挙管理委員会事務局長)
全国的に若年層の投票率の低さが目立ち、社会的問題にもなっておりますが、これまで利用の少なかった市内小中学校に対する投票箱等の器材の貸出について周知したところ、3つの中学校で利用され、さら

に2校での利用が予定されています。今後も、実際の選挙に近い形で体験できるように投票用紙等の資材の整備やマニュアルの作成を行い、小中学生に選挙に対する関心を深める啓発をしていきます。

また、これまで20歳到達者に対しパンフレット等を送付し啓発を図ってきましたが、今後は、18歳及び19歳の方々にも同

様の啓発を行っていくとともに、18歳は高校3年生に該当しますので、高等学校とも連携し新たな施策を模索していきたいと考えています。さらに、市のホームページやフェイスブックを活用し若年層への情報提供を行いながら、大学や商業施設等への期日前投票所の設置を進めていきたいと考えています。